

令和5年度 大分県がん診療連携協議会 PDCAサイクルの情報共有・相互評価シート

| 病院名                   |   | 番号    |
|-----------------------|---|-------|
| がん診療連携拠点病院・協力病院(共通活動) |   | 12.16 |
| 分類<br>(該当を選択)         | 12. 相談支援センター<br>16. PDCAサイクルの確保   |       |
| 計画事項(P)               | <p>1. がん相談支援センターの活用促進に向けて広報周知活動を実施する</p> <p>1) 情報交換会内で、広報周知の対象者ごとにグループワークを行い、効果的な戦略を考える(対象者:院内医療従事者・一般市民・診断初期の患者など)</p> <p>2) 各グループの意見を共有し、自施設の広報周知活動に活かす</p> <p>3) 行政との協働・連携について意見交換を行う</p> <p>2. がん専門相談員の相談対応力向上を目指した研修会を開催する</p>   |       |
| 実施状況(D)               | <p>1. 9月にグループワークを実施した。19名参加し、院内医療従事者・一般市民向けの計3グループに分け、議論を行った。マンパワー不足に悩みながらも、院内の人的資源の活用や、デジタルサイネージへの掲載やリーフレットの配布などデジタル・アナログの併用による広報周知活動の必要性を確認した。また、行政との協働・連携について、県のイベントでの協働やサポートブック改訂時の意見交換を行う方向性について議論した。</p> <p>2. 2月にオンラインで、がん専門相談員研修を実施した。18名参加し、3事例の検討とミニレクチャーを行った。就労支援や意思決定支援、多職種連携などについて検討し、参加者全員が満足・非常に満足の反応があった。</p> |       |
| 評価(C)                 | <p>1. がん相談支援センターの広報周知は経年的な課題であるが、各施設少人数での業務の中での悩みや自施設に活かせる取り組みについて、グループワークを行うことで具体的な議論を行うことができた。また、行政からの参加もあり、現場の現状理解だけでなく、協働して活動できる内容について議論することができた。</p> <p>2. 事例検討だけでなく、その内容を整理するためのミニレクチャーを実施することで、相談員の対応力向上につながる研修会を開催できた。</p>  |       |
| 改善(A)                 | <p>今後もがん相談支援センターの広報周知活動は継続するが、各施設の取り組みの共有や自施設の課題解決に向けた議論ができたため、共通活動としての取り組みは終了とする。</p>  |       |
| 備考                    | 継続  |       |
|                       | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;">                     終了                 </div>  |       |